

令和3年度 第3回 政策決定会議 会議録①

-
- ◆開催日時：令和3年7月19日（月） 10：00～10：35
 - ◆開催場所：市長公室
 - ◆出席委員：永野市長、堤副市長、戎井副市長、大下教育長
-

◆審議事項

- ・岸和田市次期総合計画基本構想骨子案及び都市計画マスタープランの見直し骨子案
（見直しの視点）について・・・・・・・・・・・・・・・・・・企画課・都市計画課⇒承認
-

◆審議概要

『岸和田市次期総合計画基本構想骨子案及び都市計画マスタープランの見直し骨子案
（見直しの視点）について』

〈説明者〉西川総合政策部長、貝口企画課長、中井担当長、前田主任、上田担当員
松下まちづくり推進部長、山田都市計画課長、藤井参事

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件一部修正のうえ承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書等に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり。

【政策調整会議における議論内容】

○総合計画基本構想について

- ① 骨子案の基本目標とその設定の背景の記載について、序列はないため番号を削除すること。
- ② 広域連携やダウンサイジングの視点について検討するとともに、多様な地域資源として、関西国際空港について触れておくこと。
- ③ 第4次総合計画期間中に達成できた点や課題をとりまとめた課題整理集についても、骨子案の検討プロセスに明記しておくこと。
- ④ 基本構想の作成にあたっては内容の重複がないようスリム化を図るとともに、SDGsについても検討すること。

○都市計画マスタープランについて

- ⑤ 骨子案の市民意識調査結果のグラフについて、見やすい表現とすること。
- ⑥ 計画作成にあたっては、道路等広域にまたがる部分については、他市や大阪府等との計画との整合性を図っていくこと。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉12年の長期計画なので、広い視野を持ち、コロナ後の新しい姿を積極的に提案していただけるように。関西国際空港を中心とした大阪湾の広域連携に貢献できるように、他県を

含めた広範囲での連携から、泉州地域の市町との広域連携、岸和田市域内の地域連携というように、体系的に新しい都市構造を提案することを意識すること。

〈戎井副市長〉資料別紙3に、「子育て世代の転出入の均衡を図り、人口減少のスピードを緩やかにする」とあるが、市民アンケートの中で、岸和田市に住み続けたくない理由の上位に、まちのイメージが悪い、交通の便が悪い、子どもの教育環境が悪いという3点があげられている。それぞれどのように対処されているか。

〈中井担当長〉イメージについては、様々な要素があり分析が難しいところがあり、教育については、学力等の数値の改善は進んでいない状況である。交通の便について、市街地では交通の便が良いという意見がある一方、山手は移動しづらいという意見が出ているため、拠点、交通ネットワークの形成、アクセスの向上をひとつのターゲットにして進めていきたいと考えている。

〈戎井副市長〉資料で、拠点の設定については触れられているが、教育に係ることの記載があまりないので、基本構想の段階では記載しておくこと。

〈中井担当長〉承知した。

〈戎井副市長〉イメージが悪いということについても、分析していくように。どのように良くしていくのか考えてもらいたい。

〈市長〉違う角度からの魅力の掘り起こしが必要。例えば、考古学の聖地であること、高松宮記念杯競輪が開催されていること、だんじりの真の奥深さ、漁業など。また、子どもの学力向上は必須である。貧困層では様々な課題が集積する傾向があるため、その層へのアプローチが必要である。

〈堤副市長〉学力を向上させることに加えて、道路等の都市基盤の整備や産業など、総合的に向上させていくことが重要。

〈総合政策部長〉本案件について、原案どおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を、原案のとおり承認する。

令和3年7月6日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第14条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市次期総合計画基本構想骨子案及び都市計画マスタープランの見直し骨子案(見直しの視点)について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、 簡潔に記載すること。)	令和5年度スタートの次期総合計画の基本構想骨子案及び都市計画マスタープランの見直し骨子案(見直しの視点)について付議するものです。 なお、これらについては、岸和田市総合計画審議会、また都市計画審議会での意見聴取とともに、8月に地域説明会・意見交換会、及びパブリックコメントを実施していく予定です。
説明者	貝口 企画課長、中井 政策担当長、前田 担当員、上田 担当員 山田 都市計画課長、藤井 都市計画担当特命参事
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和3年度 第3回会議
付議事項	岸和田市次期総合計画基本構想骨子案及び都市計画マスタープランの見直し骨子案(見直しの視点)について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	総合計画は、自治基本条例の理念にある「市民自治都市の実現」に向けて、市政運営の方向性を明らかにする役割を担っており、行政のみならず、市民や議会とともに策定し、市民みんなのめざすまちの姿としての総合計画をめざす。なお、総合計画の策定と都市計画マスタープランの見直しを連携し進めることで、具体的な都市の将来像と都市計画の指針について一体的に進める。

★総合計画上の位置付け

202010201	基本目標	II-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	ア 目標の達成に向けて、計画的な施策の推進と適正な進行管理に努める

★現状と課題

第4次総合計画では、21世紀型の新しい仕組みづくりとして、市民参加、地域経営の視点から、岸和田市自治基本条例の理念を具体化する役割を担う「市民みんなの総合計画」として位置付け、積極的な市民参加による総合計画の策定を実施してきたが、一方で市民による継続的な認知につながらない。そこで、地域自治、公民協働のさらなる向上をめざし、市民参加による策定過程を重視した計画づくりするとともに、まちづくり主体者の新たな連携の創出や多様な資源の活用など、少子、高齢社会における持続可能な地域づくりのための「みんなの総合計画」として策定していく必要がある。

都市計画マスタープランは、都市計画決定・変更の根拠となる計画であることから、社会情勢の変化や関連事業の進捗等を踏まえて計画改定を行う必要がある。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
とことん懇話会の開催、基礎調査、アンケート調査、団体ヒアリング等の運営補助委託費【～令和3年3月末】		12,815						
とことん懇話会の開催、庁内検討会議及び総合計画審議会運営、地区説明会の開催等運営補助及び計画書の作成委託費【令和3年4月～令和5年1月末】			10,538	9,999				
次期総合計画印刷、配布、広報【令和5年1月～令和5年3月末】				4,000				
総合計画の進行管理	16	16	16	16	16	16	16	16
都市構造分析、基礎資料作成	4,200	1,240						
都市計画マスタープランの改定(印刷含む)		680	1,380	2,000				
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源	4,216	14,751	11,934	16,015	16	16	16
	その他							
事業費			計	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			16,079	16,015	16	16	16	16

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
有					
	(無)				

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R1年度	R2年度	R3年度	目標値				
					R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
① 市民の声が市政に反映されていると感じている市民の割合	%	7.3	10		7.8				
② 市役所は目標の達成に向け、計画的に施策を推進していると感じている市民の割合	%	12.1	14.4		11.6				

※事業費及び人員を確約するものではない。